

平成23年度大阪府学力・学習状況調査が6月14日に実施され、大東市における全市立小・中学校におきましても、小学校6年と中学校3年を対象に実施いたしました。

調査内容は、国語及び算数・数学の知識に関するA問題と活用に関するB問題、中学校はさらに英語による「学力調査」、児童生徒に学校生活や家庭生活の様子をたずねた「児童生徒アンケート」、各学校に取り組み状況や教職員の意識についてたずねた「学校アンケート」からなっています。

教育委員会では、分析した調査結果を学校での「授業改善の工夫」および児童生徒の「学習意欲の向上・基本的生活習慣の定着」に役立てたいと考えています。

問教育政策室 ☎870・9643

## 小学校 学力調査の結果より

すべての領域について、大阪府と同様の傾向にはあるものの、大阪府の平均正答率を下回っています。

国語Bについては、「自分の考えをまとめた上で効果的に説明する記述式の問題」の正答率が低く、「記述する力」に課題があります。

算数Bについては、表やグラフなどで表現された問題を読み、そこからわかることを書いたり、理由を説明したりする力に課題が見られます。

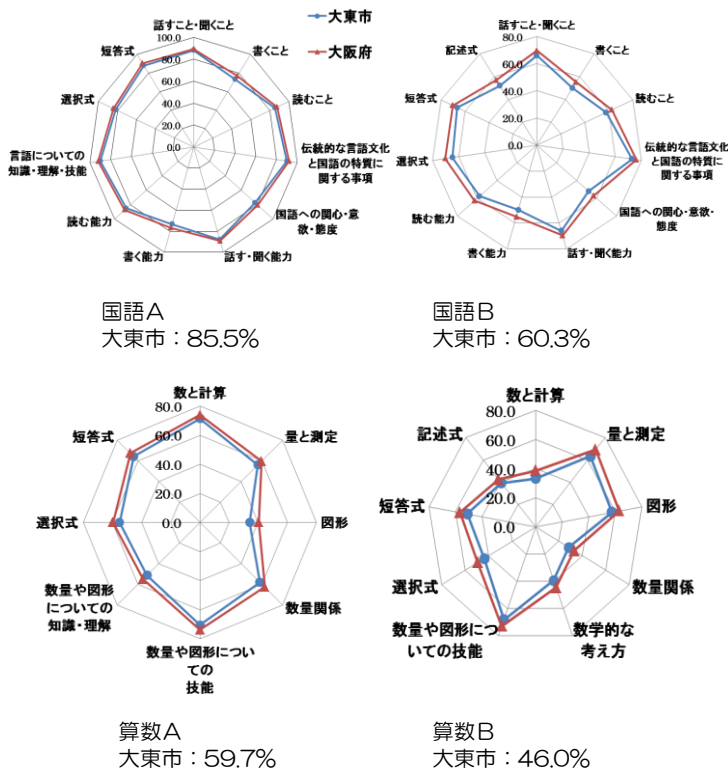
## 中学校 学力調査の結果より

すべての領域について、大阪府と同様の傾向にはあるものの、大阪府の平均正答率を下回っています。

数学Bにおいて、文や図などで表現された問題を読み、読み手の考えを書いたり、理由を説明したりする力に課題が見られます。

英語については、自分の考えを学習した英語で伝える力や記述の力に大きな課題が見られます。

### <平均正答率>



大阪府のデータは、公立学校の平均です。

### <平均正答率>

